

レギュラーコース中級（2年生）

本書「第8 スペイン語の履修について（2年生）」、および各授業科目の講義要綱をよく読んだ上で、選択する授業科目を決めてください。担当者が同じでも授業内容は異なりますので、間違えないようにしてください。スペイン語第Ⅲは平易なレベル（原則SとAはつきません）、スペイン語第Ⅳは通常レベルの授業です。

A群

講座番号	科目名	担当者	履修者定員	曜日時限
101	スペイン語第Ⅲ	浜田 和範	38	火1
102	//	渡辺 暁	38	火5
103	スペイン語第Ⅳ	荻野 恵	38	金4
104	//	杉下由紀子	38	火1
105	//	杉下由紀子	38	金4
106	//	浜田 和範	38	金1
107	//	牧野 真也	38	水1
108	//	渡辺 暁	38	火4
109	//	渡辺 裕木	38	火5
110	//	アルバレス	26	火1
111	//	牧野 真也	26	水3
112	//	ロドリゲス	26	土1
113	//	ロドリゲス	26	土2

B群

講座番号	科目名	担当者	履修者定員	曜日時限
201	スペイン語第Ⅲ	木下 雅夫	38	金1
202	//	工藤 由美	38	月5
203	スペイン語第Ⅳ	伊香 祝子	38	月5
204	//	伊香 祝子	38	木5
205	//	岡本 年正	38	金3
206	//	木下 雅夫	38	金2
207	//	工藤 由美	38	月4
208	//	仲道 慎治	38	木2
209	//	藤本 愛	38	木2
210	//	政田 利奈	38	月1
211	//	三浦麻衣子	38	木2
212	//	ドメネック	26	金2
213	//	ヤマシロ	26	木5

スペイン語第Ⅲ(A群)

スペイン語第Ⅲ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅲ 1単位(秋学期)

各駅停車スペイン語講読
春学期・秋学期：火1

浜田 和範

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

一年時に習得したスペイン語の文法知識なかでも特に法・時制に関する知識を整理しながら、会話理解や作文を通じ、スペイン語として自然な表現を身につける。文脈を理解しながら会話を聞き取る能力、そして最終的には表現したいことをスペイン語で書ける能力の獲得を目指す。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加25% 各課ごとの確認テスト25% 期末試験50%

遅刻2回につき欠席1回と見做す。規定授業回数の3分の1以上欠席した者は、単位取得の権利を失うものとする。

テキスト(教科書):

栗林ゆき絵、ロベルト・コルメナ『Cielito lindo シェリト・リンド』
同学社

作文を行うので、和西辞典のついた紙の辞書あるいは電子辞書を
用意すること。ネット上の辞書・携帯端末の辞書アプリや翻訳サ
イトの使用は厳禁。

参考書:

必要に応じてプリントを配布する。

担当教員から履修者へのコメント:

初級語学においては、勤勉が才能に勝る。聞き取り能力を鍛える
ためには音を捉える継続的な努力が、また書く力を鍛えるためには
文法知識はもとより普段からの語彙の積み重ねが、必要不可欠であ
る。毎回の音読に意欲的に取り組み、また登場する文法知識や単語
を演習や課題等により反復して吸収すること。課題はかなり多くな
るので、覚悟を持って取り組んでもらいたい。

教室でのスマホ使用は、こちらが指示する場合を除き、いかなる
理由においても厳禁とする。

授業内容は、履修者の顔ぶれによって多少の変更をとまなう場合
がある。

質問・相談:

授業前後に随時受け付ける。

スペイン語第Ⅲ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅲ 1単位(秋学期)

各駅停車スペイン語講読
春学期・秋学期：火5

渡辺 暁

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期に文法を復習したあと、秋学期にスペイン語の小説をゆっ
くりと丁寧に読んでいきます。(もし復習が早めに終われば、その時
点で小説の講読に入ります。) なお、

**なおこの授業は、実質的に通年の授業ですので、秋学期のみ単位が
必要な人であっても、留学から学期中に帰国した、などの特殊な場
合をのぞき、春学期から授業に出席することを、教える側としては
強く希望します。もちろんそうした希望をわかっていて、制度は制
度なので春学期は単位にならないから出席しない、という方もいら
っしゃるでしょうが、その場合は春学期の文法のテストを11月半ば
頃までに受けて頂くと思っています。**

講読の候補は今のところ二つあります。一つはこれまでの授業
で使ってきた、メキシコ系アメリカ人の作家、サンドラ・シスネロ
スが書いた「マンガー通りの家」という小説、もう一つは元々日本
語で書かれた、*La Jirafa Africana* という本です。以下に簡単な説明を
つけておきます。

「マンガー通り」

元々英語で書かれ1984年に発表されたこの本は、メキシコ系アメリ
カ人、ひいてはアメリカのエスニック・マイノリティによる文学作
品、というと必ず名前が出てくるような有名な作品ですが、この授
業では、この本のスペイン語版を使います。メキシコの女流作家、
エレナ・ポニャトフスカが翻訳した名訳です。西和辞典をたくさん
引きながら、ゆっくり読んでいきたいと思っています。

「*Jirafa Africana* / ぼくはアフリカにすむキリンといます」

最近(2018年12月)朝日新聞で取り上げられていたのを見て、この
授業にいいかも、と、この本のことを思い出しました。アフリカに
住むキリンが、南極に住むペンギンと文通する、という、ちょっと
不思議な設定の児童小説ですが、とても奥が深くまた最近さまざまな
社会的なコンテキストの中で再評価されているとのことですので、
それについて考えてみるのもいいかな、と思いました。スペイン語
としてはおそらくこちらの方がやさしく読めると思います。

テキストは、スペイン語第Ⅲを選択する皆さんにとっては、少し
難しいものかもしれません。とはいえ、春学期の前半に時間をかけ
て文法の総復習をやりますし、また辞書をひいても意味をとるのが
難しいかな、とこちらの方で判断した部分(たとえば動詞の活用形
や女性形あるいは複数形の形容詞、そして(メキシコのスペイン語
でよく出てくる)接尾辞がついた名詞など)については、事前にきち
んと解説をしますので、あまりよけいな心配をせず、落ち着いて
読み進めていってもらえると思います。もちろん、辞書を引いても
わからない場合は、私の方に声をかけてくれればヒントを差し上げ
ます。最初は教員に話しかけるのは緊張するかもしれませんが、気
軽にものを聞けるような雰囲気を、少しずつ作り上げていきたいと
思っています。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

まず、この授業は出席重視の授業です。今まであまり「何回休ん
だら」というのは明言してきませんでしたが、2014年度の授業、出
席率が芳しくなかった(3回しか出てこなかった)ので落としたり、
あとでクレームをつけてきた人がいたので、2015年度以降、「休む場
合は事情を教員に伝えること」、「その場合は追加のアサインメント
をこなすこと」そして「(どんな事情があれ) **四回休んだらアウト**」
というのをシラバスに明記させて頂いております。(ただし、補講に
来てくれれば欠席は一回取り消す、などの救済措置も設けています。)

単位取得の条件は、授業にきちんと出席し、参加し、その時間内
にしっかり勉強してもらうこと、ということ、そしてテストで(も
ちろんそんなに難しいテストではありませんし、ハードルも高くあ
りません)合格点を取ってもらうこと、それが単位取得の条件です。
非常に単純なことですが、そうした姿勢が見えない方は、4年生で卒
業がかかっている、単位は差し上げられません。(事実、大変心苦
しいことではありましたが、4年生を落としたこともあります)

**なおこの授業は、制度的にはともかく実質的に通年の授業ですの
で、単位の都合で秋学期のみ履修が必要な人であっても、春学期か
ら授業に出席することを、授業担当者として強く希望します(留学
から学期中に帰国した、などの特殊な場合は、帰国して通えるよう
になった時点から参加して下さい)。卒業がかかる4年生もいらっ
しゃるでしょうが、その場合も絶対に春学期というブランクを作らな
い方が、秋学期の確実な単位の取得のために有利だと思います。**

ただし、春学期のみ履修が必要な人は、秋学期は履修しなくても
けっこうです。その場合は春学期の終わりに「秋はもう出席しない」
旨を私に言いに来て頂けるとありがたいです。

テキスト(教科書):

二宮哲『スペイン語文法の要点』(20 lecciones esenciales de gramática
española) 朝日出版社(文法復習用)

スペイン語の小説(6月以降となるであろう読み始めに間に合うよう
に決め、手配します)

La casa en Mango Street

Sandra Cisneros, Vintage Español, 1994. ISBN: 978-0679755265

あるいは

JIRAFÁ AFRICANA

Megumi Iwasa / Jun Takabatake (Texto / Ilustraciones)

Fondo de Cultura Economica, 2011. ISBN: 9786071605689

参考書:

スペイン語の文法についての参考書、そして「マンゴー通り」をやる場合には、メキシコ系アメリカ人やメキシコからアメリカへの移民についての研究など、本書の内容に関連しそうな文献について、授業中適宜言及していきます。また、辞書は必ず持参してください。なお、「マンゴー通り」はオリジナルの英語版からの日本語訳が出ていますし、「キリン」に至っては本が日本語ですが、授業期間中はご覧にならないで下さい（授業終了後に英語版や日本語版で読んでくださるの、もちろん大歓迎ですし、皆さんの先輩の中には、学年末のコメントシートに、(マンゴー通りの) 英語版を買ったのでこれから読みます、と書いてくださった方も実際にいらっしゃいました。とてもうれしかったです)。

担当教員から履修者へのコメント:

この授業を選択される方の中には、スペイン語に対して苦手意識のある学生さんも多いと思いますが、ゆっくり丁寧にテキストを読んでいくことで、そんな苦手意識を払拭して頂きたいと思っています。また、スペイン語第Ⅲなのに原書を扱うのですか?と思われる方もあるかと思いますが、若い人向けに書かれた(しかもよく練られた)読みやすい文章なので、読んでいくうちに愛着が湧いていくでしょうし、そしてもちろん、皆さんが理解してくださるまでゆっくり丁寧に説明していくので、落ち着いて学んでもらえると思います。とにかくこちらから皆さんの「苦手意識」を悪い意味で刺激するようなことは絶対しませんので、皆さんの方からも、わからないところは遠慮なく質問しながら、ついてきてください。

質問・相談:

授業の前後はもちろん、授業中もわからないことがあったら、いつでも話をさそって質問して下さって結構です。また、授業開始時にメールアドレスをお教えますので、何かあったらいつでも連絡してください。

スペイン語第Ⅳ(A群)

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

スペイン語で日本の文化を説明できるようになることを目指すと共に、スペインの文化・歴史用語も習得しましょう
春学期・秋学期：金4

荻野 恵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は日本文化をテーマにした会話を読みながら文法の復習をします。秋学期はスペインの習慣や歴史に関するエッセイを通じ、長文読解に慣れていきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

試験90% 平常点10% ただし、各学期欠席が2回を超えると評価対象にはなりません

テキスト(教科書):

荻野恵 サンティアゴ・マルティン著『基礎固めのスペイン語』同学社 2005年

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

スペイン語で健康問題について考えよう
春学期・秋学期：火1

杉下 由紀子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

一年次で学習したスペイン語の基礎文法を駆使して総合的コミュニケーション能力を高めるとともに、スペイン語圏社会に関する知識を深めることを目的とします。

現代社会は健康に関する情報があふれ、特に日本人はこの分野に関心が強いと思われます。一方、スペインや中南米ではどうでしょうか。「健康」をキーワードに、食生活・医療・福祉・スポーツなど、さまざまな分野からスペイン語圏諸国の歴史・社会・文化を学び、日本と比較してみましょう。

スペイン語テキストの講読が中心ですが、時々、会話練習や映像資料鑑賞も行います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況、授業態度、レポート、期末試験から総合的に評価。

テキスト(教科書):

プリント配布

参考書:

大島洋子・肥田章子『病気のときのスペイン語会話』学生社、2006年

その他、講義中に適宜紹介。

担当教員から履修者へのコメント:

必ず予習し、授業には辞書を持参すること。専門用語は専門の事典で調べ、舞台となっている国や地域についても情報収集し、探究心を持って取り組んでください。自分の意見や感想を積極的に発言する姿勢に期待しています。

質問・相談:

授業の前後に教室か教員室で対応します。

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

スペイン語圏の食文化
春学期・秋学期：金4

杉下 由紀子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

言葉と同様、食べ物も国や地域による特色があり、スペイン語圏の食は多様性に富んでいます。私たちが普段口にしている食材の中には中南米原産のものがありますし、スペインや中南米の主要都市では日本料理が普及し、お互いに影響を与えあっています。食べ物から、風土や歴史、人々の生活習慣、社会問題など、いろいろなことを知ることができます。

この授業の目的は、スペイン語の総合的コミュニケーション能力を高め、スペイン語圏地域の社会文化に関する知識を深めることです。食に関連したさまざまな分野(地理、歴史、宗教、文化人類学、農学、医学、政治、経済、文学等)のスペイン語テキストの講読が中心ですが、時々、聴き取りや会話練習、映像資料鑑賞、履修生によるプレゼンテーション・意見交換も行います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況、授業態度、プレゼンテーション、レポート、期末試験から総合的に評価。

テキスト(教科書):

プリント配布

参考書:

山本紀夫編『世界の食文化13 中南米』農山漁村文化協会
立石博高編『世界の食文化14 スペイン』農山漁村文化協会
その他、講義中に適宜紹介。

担当教員から履修者へのコメント:

必ず予習し、授業には辞書を持参すること。専門用語は専門の事典で調べ、舞台となっている国や地域についても情報収集し、探究心を持って取り組んでください。自分の意見や感想を積極的に発言する姿勢に期待しています。

履修生から希望があれば、実際にスペインや中南米のレストランで食事をしながら食文化を学ぶ会なども授業時間以外に設けたいと思います。

質問・相談:

授業の前後に教室か教員室へ来てください。

スペイン語第Ⅳ 1単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1単位(秋学期)

スペイン語から考える：ラプラタ地域入門
春学期・秋学期：金1

浜田 和範

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

大西洋にそそぐ南米の大河・ラプラタ川の両岸に、双子のように佇むブエノスアイレスとモンテビデオ。この両市を首都に持つアルゼンチン、ウルグアイを総称して「ラプラタ地域」と呼ぶ。果てなく広がる地平線と世界最高級の牛肉、甘く物悲しいタンゴで知られるこの地域は、20世紀の知的世界を震撼させたためめく文学作品を育み、また激動やまぬ政治の舞台となってきた。

この講義では、ラブラタ地域に関する評論や小説などの抜粋、あるいは政治家の演説や映画などの映像素材を通じ、スペイン語資料から可能な限り多角的にラブラタ地域への理解を深める。同時に語学の授業として、初級文法を確認しつつ中級文法の習得を目指す。
授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照
成績評価方法:

授業への参加40% (各種提出物を含む)、試験および課題の成績60%
テキスト(教科書):

テキストはこちらで随時配布する。

参考書:

辞書に関しては、慶應大学法学部で推奨された中辞典級のものを使用すること。

授業の性格上、文法説明は最小限に留める。予習復習、あるいは自主的なブラッシュアップの面からも、以下のような文法書あるいは高度な教科書を携行し、随時参照することが望ましい。

-瓜谷良平『新版 スペイン語の入門《CD付》』白水社、2015年 ISBN: 978-4560087046

その他、日本語で読めるラブラタ地域関連の書籍を紹介する。

■アルゼンチン・ウルグアイ全般

-高橋均・網野徹哉『世界の歴史18 ラテンアメリカ文明の興亡』中公文庫、2009年 ISBN: 978-4122052376

-増田義郎編『世界各国史26 ラテン・アメリカ史II 南アメリカ』山川出版社、2000年 ISBN: 978-4634415607

■アルゼンチン関連

-杉山知子『国家テロリズムと市民—冷戦期のアルゼンチンの汚い戦争』北樹出版、2007年 ISBN: 978-4779300868

-アルベルト松本『アルゼンチンを知るための54章』明石書店、2005年 ISBN: 978-4750321851

■ウルグアイ関連

-井上忠恕・後藤信男『ピバ! ウルグアイ—ワールドカップを制した人口三〇〇万人の小国』STEP、2003年 ISBN: 978-4915834493

-アンドレス・ダンサ、エルネスト・トゥルボヴィッツ『ホセ・ムヒカ 世界でいちばん貧しい大統領』角川文庫、2016年 ISBN: 978-4041043271

その他、アジア経済研究所のレポート等出版物

<http://www.ide.go.jp/Japanese/Research/Region/Latin/index.html>

担当教員から履修者へのコメント:

語学の要諦は語彙と文法に極まる。こまめに辞書を引き、文法をゆがせにしないこと。

必ずしも体系立てた進行にはしない。興味の赴くまま書物をひもとき、映画や音楽や絵画に触れ、日々のニュースに反応し、ことによっては旅先での直の体験をもとにラ・プラタ地域の無数のモザイクを繋ぎ合わせ一枚の画を完成させるのは、何より君たち自身なのだど肝に銘じてほしい。

スマホの使用は、こちらが指示する場合を除き、いかなる理由においても厳禁とする。授業内容は、履修者の顔ぶれによって多少の変更をとまなう場合がある。

質問・相談:

授業前後に随時受け付ける。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

スペイン語の基礎を再確認する

春学期・秋学期：水1

牧野 真也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

- ・スペイン語の基礎的な文法を身につけた学生を対象とします。
- ・1年次に学習した内容を総復習しながら、新たな学習事項をも交えつつ、スペイン語のスキルアップを目指します。
- ・書きことばについては平易な読み物の講読や練習問題・作文などで、話しことばについては会話表現の練習や聴解などで、それぞれスペイン語力の向上を図る予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況+授業参加+最終日試験による評価

テキスト(教科書):

教科書は講師がプリント形式で用意し、聴解用の音声ファイルは授業支援システムを通じて配信する予定ですが、西和・和西辞書は各自で必ず用意してください。

参考書:

- ・『現代スペイン語辞典』改訂版、白水社、1999年
- ・『クラウン 西和辞典』三省堂、2005年
- ・『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』小学館、2003年
- ・上田博人『スペイン語文法ハンドブック』研究社、2011年
- ・山田善郎他『中級スペイン文法』白水社、1995年

担当教員から履修者へのコメント:

初回は教科書プリントの配布とイントロダクションを行うので、欠席しないようにしてください。

質問・相談:

授業後に受け付けます。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

ラテンアメリカの政治と社会 (と文学と映画)

春学期・秋学期：火4

渡辺 暁

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ラテンアメリカ各国の政治と社会に関するスペイン語の文献の講読、音楽や映画の鑑賞を通して、スペイン語の運用能力の向上をはかりつつ、ラテンアメリカ政治について基本的な知識を学ぶことを目標とします。

昨年度(2019年度)から、前期は文法の復習を中心にやることにしました。比較的平易な教科書を用い、1年次に履修した文法の理解を着実なものにしてから、文章を読んだり、映画の聞き取り+解説を行ったりしたいと思います。(場合によっては前期は復習で終わってしまうかもしれません。)

なおこの授業は、制度的にはともかく、秋学期のみ単位が必要な人であっても、春学期から授業に出席していただくことを、講師として強くお願いしておきます。(留学から学期中に帰国した、などの特殊な場合はもちろん考慮しますが、帰国して大学に通えるようになった時点から参加して下さいようお願いいたします。)「秋学期だけ」という方々は、こういう言い方をすると失礼ですが、おそらくスペイン語がそこまで得意ではない方が多いと思います。そうした方々には、半年のプランクをあげるより、春学期も一応授業に参加して課題等をこなしておいた方が、必要な秋学期の単位の取得が確実になるのではないかと、とも申し上げておきます。また、秋学期から受講される方には、春学期に課す文法テストを、11月半ば頃をめどに受けてもらう予定です。

内容的には、春学期は、文法を復習した後に、映画作品を使いながらラテンアメリカの政治と社会に関して勉強して頂く授業を、秋学期はラテンアメリカの文学作品を辞書を引ながら読んでいく、という授業を展開していきます。(授業計画を参照して下さい。)

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

まず最初に。この授業は出席重視の授業です。欠席した場合はその理由をきちんと報告し、代わりのアサインメントを受けること、そしていかなる事情があれ、四回欠席したらアウトとします。(ただし、学期中何度か休講にしますので、その分の補講に来てくれた人は欠席を取り消す、などの救済措置は設けます。)

成績のつけ方については、スペイン語の能力とラテンアメリカ政治についての理解の両方を評価できるような試験方法を探して試行錯誤してきましたが、基本的に今年度から、春学期は、授業中に扱ったスペイン語の文法に関する試験と、授業で扱った映像資料等についての小レポート、ならびに学生の皆さん自身が興味を持ったラテンアメリカ社会に関する期末レポート、これらの組み合わせで行う予定です。秋学期については新しい試みなのでまだどのような形でテストあるいはレポート課題を出すか、詰め切れていませんが(現在はテストを行う予定です)、秋学期の授業の内容をベースに、皆さんの勉強して下さいったことが生きるような課題を模索していく予定です。

期末レポートを出す場合、一昨年度までは、一度中間レポートを提出してもらい、それに基づいて最終レポートにつながるアドバイスを一人一人に対して行ってきました。2018年度も、相談があれば受け付けています。自分でも指導は丁寧な方だと思いますが、そのかわり自分の指導に添えてくれないような手抜きのレポート（ましてや剽窃行為は厳禁：読めばすぐわかります）は容赦なく落とすので、3年・4年生は特に注意してください。

テキスト(教科書):

二宮哲『スペイン語文法の要点』朝日出版社

を、文法の復習のための教材として使います。その後はプリントを使用します。

参考書:

例年勧めている基本文献は以下の通りです。

高橋均、網野徹哉『ラテンアメリカ 文明の興亡』世界の歴史18、中央公論社、1997年

遅野井茂雄他編『ラテンアメリカ世界を生きる』新評論、2001年
ななころびやおき『ブエノス・ディアス、ニッポンー外国人が生きる「もうひとつのニッポン」』ラティーナ、2005年

坂井正人他編『ラテンアメリカ（朝倉世界地理講座—大地と人間の物語）』朝倉書店、2007年

恒川恵市『比較政治—中南米』放送大学出版会、2008年

渡辺暁「メキシコ—文民権威主義体制からの民主化と選挙」吉川洋子編『民主化過程の選挙』行路社、2010年

その他の参考書については授業中に指示します。

また、授業計画にあげたもの、そしてそれ以外でも部分的にでいいから取り上げられたらいいな、と思っている映画について、この「参考書」の欄にあげておきます（順不同）。

Maria llena eres de gracia (Colombia-US, 2004 [Drug trafficking and migration])

Sin nombre (Mexico-US, 2009 [Migration from Central America])

La ley de Herodes (Mexico, 2000 [Mexican politics])

La historia oficial (Argentina, 1985 [The last phase of the military regime])

El infierno (Mexico, 2010 [Mexican politics and drug violence])

Los que se quedan (Mexico, 2008 [Mexican migration])

El secreto de sus ojos (Argentina, 2009 [Politics and society of Argentina])

El diario de motocicleta (Argentina, 2004 [Politics and society of Latin America])

担当教員から履修者へのコメント:

まず最初をお願いしておきます。単位の都合で秋学期のみ履修すればよい、という方も、なるべく春学期から履修するようにして下さい。セメスター制とはいえ、それ以外の大多数の人が春学期という時間を共有してくれているわけですから、そこに9月になってからいきなり来られても、ご本人も戸惑うのではないかと思います。また、先ほども書いたように、9月から受講される方には、他の皆さんが春学期に受けて下さった文法テストを受けてもらいますので、こちらもご理解をお願いします。

この授業については、しっかり予習・復習しながら真面目につきあって頂ければ、その両方についてある程度の成果が出るよう、教える側としてもそれなりの努力をしているつもりですので、この授業を通してラテンアメリカや途上国の政治・社会について何かを得たい、というモチベーションのある人にぜひ取っていただきたいと思います。(副産物として、映画や文学作品を通して社会について学ぶという姿勢もできてくると思います。)

昨年から徐々にウィークデイに授業を設定しました。(昨年度まではずっと土曜日開講でした。)受講生が増え、かなり私自身も戸惑いましたが、今年はその経験を生かして、昨年のよりはもう少し改良していきたいと思っています。こちらも人間ですので、温かい目で見守って頂けたらと思います。

質問・相談:

授業に関することはもちろんそうでないことについても、質問や相談を歓迎します。授業の前後はもちろん、授業中もわからないことがあったら、いつでも話をささげつつ質問して下さってけっこうです。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

メキシコの歴史・文化
春学期・秋学期：火5

渡辺 裕木

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語でより高度なコミュニケーションができることを目指し、語彙力、読解力および作文技術の向上を目指します。

授業では、メキシコ合衆国の歴史や現在のメキシコ文化についてスペイン語で書かれた新聞や雑誌の記事などを講読し、現在のメキシコ文化や、メキシコの人々への理解を深めます。

また先スペイン期、コロニアル期、近現代、それぞれの時代の絵画を中心とした文化遺産に着目し、それらが作られた時代背景を紐解きながら、先スペイン文化（旧大陸文化）とコロニアル文化（スペイン文化）が融合した歴史への理解を進めます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

受講生は各授業で告知される長文読解の宿題と、学期末レポートを提出する。またレポートの内容をクラスで発表する。

テキスト(教科書):

『スペイン語でニュースを読む—メキシコとアルゼンチンの記事より—』国本伊代/アレハンドロ・クダ著 朝日出版社 2005年

ISBN: 978-4-255-55014-5

参考書:

『メソアメリカを知るための58章』井上幸孝編 明石書店 2014年
ISBN: 978-4-7503-4009-8

『メキシコ現代史』鈴木康久著 明石書店 2003年

ISBN: 978-4-7503-1704-7

『メキシコの歴史 メキシコ大学院大学編』D.C. ビリエガス他著
村江四郎訳 新潮社 1978年

ASIN: B000J8QQGU

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

スペイン人の先生にスペイン語を学ぼう
春学期・秋学期：火1

アルバレス・クレスポ, ヘスス・カルロス

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Los estudiantes aprenderán a desarrollar conversaciones sencillas y afianzarán sus conocimientos gramaticales mediante el uso del libro "Muy bien. Curso de español 2". El texto se complementará con la lectura y traducción de textos y con el repaso de conceptos gramaticales.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Habrà dos exámenes al año, uno en julio y otro en enero, al final de curso. スペイン語での能力（文法・口頭能力など）

出席・遅刻率

授業での会話の参加率

授業での興味を示すこと

試験の成果

テキスト(教科書):

『いいね！スペイン語2、¡MUY BIEN! CURSO DE ESPAÑOL 2』

Juan Carlos Moyano López, Carlos García Ruiz-Castillo, Yoshimi Hiroyasu 朝日出版社 2019年 ISBN:978-4-255-55106-7 C1087

定価（本体2, 600円＋税）

担当教員から履修者へのコメント:

Los estudiantes deberán mostrar atención y participar activamente en las conversaciones, aunque no sea su turno. También deberán preparar los deberes que se les asigne.

Podrán asistir durante el primer semestre.秋学期のみ単位が必要な学生が春学期から履修してもよい。

スペイン語第Ⅳ 1 単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1 単位(秋学期)

スペイン語からポルトガル語へ
春学期・秋学期：水3

牧野 真也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ポルトガル語は、ポルトガルとその旧植民地であるブラジルやアンゴラ、モザンビークなどで公用語として話されています。全世界で2億3000万人以上の話し手を抱える大言語です。スペイン語やイタリア語・フランス語・ルーマニア語などと同じく、ローマ帝国の公用語であったラテン語を祖先としており、中でもスペイン語はポルトガル語に最も近い主要言語です。

本授業はすでにスペイン語の基礎を習得した学生を対象としており、スペイン語の知識をもとにしてポルトガル語の基礎を身につけることを目指しています。スペイン語を通じてポルトガル語を学ぶという形をとりますが、このことはまた、自らのスペイン語の知識を再確認することにもつながります。

スペイン語だけではなくポルトガル語にも挑戦してみたい、あるいはポルトガル語の学習を通じてスペイン語を再確認してみたいという熱意ある学生の受講を希望します。

なお、この授業の履修者は、三田キャンパスでポルトガル語中級の授業を継続して履修することができます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況+授業参加+最終日試験による評価

テキスト(教科書):

教科書は講師がプリント形式で用意しますが、ポルトガル語の辞書は5月の連休明けまでに各自で必ず用意してください。教科書・辞書・参考書については初回授業で説明を行います。

参考書:

- ・池上岑夫他『現代ポルトガル語辞典』改訂版、白水社、2005年
- ・高橋都彦『ブラジルポルトガル語の基礎』白水社、2009年
- ・Perini, Mario A: *Modern Portuguese: A Reference Grammar*, Yale University Press, 2002
- ・上田博人『スペイン語文法ハンドブック』研究社、2011年

担当教員から履修者へのコメント:

初回は教科書プリントの配布とイントロダクションを行うので、欠席しないようにしてください。

質問・相談:

授業後に受け付けます。

スペイン語第Ⅳ 1 単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1 単位(秋学期)

パナマ人の先生とスペイン語を学ぼう
春学期・秋学期：土1

ロドリゲス, ルベン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ラテンアメリカについて学習しながら日常生活で使える単語や文法を勉強します。とはいえ、文法のルールより、笑いながらラテンアメリカの文化を認識し、スペイン語で会話できるようになることを優先します。積極的にコミュニケーションを取り、皆さんが気軽に参加できる楽しい授業にしましょう。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績評価方法は、授業参加、課題の提出、プレゼンテーションに基づきます。

テキスト(教科書):

特になし

参考書:

スペイン語能力に自信がない方は辞書と文法の本を持参すると良いでしょう。

担当教員から履修者へのコメント:

文法だけでなく、スペイン語圏の文化や人々の生活も一緒に楽しく学びたいと思う学生の参加を期待しています。私はラテンアメリカ出身なので、ラテン系ならではの雰囲気も伝えられたらいいと考えています。授業には参考書を持参してください。

質問・相談:

授業前後、またはruben18@keio.jpで受け付けます。

スペイン語第Ⅳ 1 単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1 単位(秋学期)

パナマ人の先生とスペイン語を学ぼう
春学期・秋学期：土2

ロドリゲス, ルベン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本講義では文章の読解と作成を中心とし、スペイン語の文法を学びます。スペイン語のリーディング、リスニング、スピーキング、作文の総合力を高めることを目標とします。そのため、スペイン、およびラテンアメリカのニュース、本、雑誌等を読みながら、作文も練習します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績評価方法は、授業参加、課題の提出、プレゼンテーションに基づきます。

テキスト(教科書):

特になし

参考書:

スペイン語能力に自信がない方は辞書と文法の本を持参すると良いでしょう。

担当教員から履修者へのコメント:

文法だけでなく、スペイン語圏の文化や人々の生活も一緒に楽しく学びたいと思う学生の参加を期待しています。私はラテンアメリカ出身なので、ラテン系ならではの雰囲気も伝えられたらいいと考えています。授業には参考書を持参してください。

質問・相談:

授業前後、またはruben18@keio.jpで受け付けます。

スペイン語第Ⅲ(B群)

スペイン語第Ⅲ 1 単位(春学期)

スペイン語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

エクспレス・スペイン語文法
春学期・秋学期：金1

木下 雅夫

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語Ⅲは、スペイン語を学んだ初年度に十分理解しきれなかった学生を対象としています。教科書に『スペイン語語彙練習帳』を用いて、直説法現在形から接続法まで、各単元を「文法説明→問題演習→小テスト」を繰り返しながら学びます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

期末試験(比重5割)と各単元毎に行う小テストおよび平常点(出席、授業参加度等を小テストの点数として評価に組み入れます)を総合的に評価します。

テキスト(教科書):

GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳』朝日出版社 2008年
ISBN-13: 978-4255550244

担当教員から履修者へのコメント:

出席をしていても授業参加が不十分(寝ている、発音練習をしないなど)の場合は欠席と同様に扱い、出席点を減じます。各単元ごとに小テストを行います。

質問・相談:

担当教員の出講日は金曜のみです。質問・相談は授業前後にしてください。

スペイン語第Ⅲ 1 単位(春学期)

スペイン語第Ⅲ 1 単位(秋学期)

エクспレス・スペイン語文法
春学期・秋学期：月5

工藤 由美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初級文法の復習に重点を置き、適宜、読解、作文、会話などの練習を行う。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は、期末試験70%、平常点30%で評価する。期末試験は各学期、第13回の授業で授業内試験を実施する。平常点は、授業への参加度、小テスト、およびレポート等、その他の課題の成績で判定する。なお、原則、欠席5回以上で成績判定不可とするので注意すること。

テキスト(教科書):

『新・エストレリータ -スペイン語入門コース-』栗林ゆき絵他 朝日出版社 2019年 ISBN:978-4-255-55104-3

参考書:

適宜、授業中に紹介する。

担当教員から履修者へのコメント:

予習が大前提です！予習の際は、少なくともわからない単語の意味を辞書で調べておきましょう。また、テキスト付録のCDを聞いて、スペイン語の音に慣れましょう。

質問・相談:

原則、授業終了後に受け付けます。

スペイン語第IV(B群)

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

スペイン語圏の子どもに関する文学
春学期・秋学期：月5

伊香 祝子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

日本ではまだまだ知られていないスペイン語圏の児童文学を扱います。ラテンアメリカの作品が中心ですが、スペイン語で書かれた創作児童文学のほか、米国のスペイン語話者の子どもたちを取り巻く状況と児童文学、子どものための詩、先住民族のお話、新聞記事、評論まで幅広くとりあげ、子どものための文学を通じて、スペイン語圏の社会、文化への理解を深めることを目的としています。

また、スペインで開発された読書メソッド「アニマシオン」の手法を紹介し体験してもらうこともあります。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春学期・秋学期とも筆記試験を行います。また、授業は事前に渡したテキストを毎回数名に訳してもらい演習形式ですが、全員を対象とした授業内容に関する課題を提出してもらい、それらの内容も合わせて成績を評価します。

テキスト(教科書):

適宜プリントを配布します。文法については、昨年度スペイン語の授業で使用したテキストを参照してください。

参考書:

A. ドルフマン『子どものメディアを読む』晶文社 1992年 ISBN978-4-794-96088-7

担当教員から履修者へのコメント:

子どものための文学といっても、おとなの文学と変わらず、その背景となる社会を反映しています。自分なりの問題意識を持って授業に臨んでください。

質問・相談:

講義時に受け付けます。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

アルゼンチンの文化と社会の諸相
春学期・秋学期：木5

伊香 祝子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

アルゼンチンについて書かれたテキスト(論説文やニュース記事など)を読みます。別の社会について知ること、自分たちの生きる社会を見るもう一つの視点をもつことを目的としています。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

毎回配布テキストに関する小課題を提出していただきます。小課題、授業中の取り組みの様子、期末試験などの結果を総合して成績評価を行います。

テキスト(教科書):

プリントを使用する。

担当教員から履修者へのコメント:

多文化・多民族国家への歩みを進めつつあるアルゼンチンに興味のある方の参加を期待しています。※各回のテーマは順番が入れ替わる場合もあります。

質問・相談:

授業内で受け付けます。

スペイン語第IV 1単位(春学期)

スペイン語第IV 1単位(秋学期)

ペルーの歴史・社会・文化
春学期・秋学期：金3

岡本 年正

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ペルーの社会や文化、歴史に関する文献や記事、小説の講読、映画の観賞などを通して、スペイン語力(読解力や表現力等)を向上させるとともに、ペルー共和国についての理解を深めていくことを目的とします。

ペルーと聞くと、世界遺産のマチュピチュやナスカの地上絵、ペルー料理、インカ帝国等、日本においてもなじみの深いトピックを思い浮かべるのではないのでしょうか。また日本とのつながりであれば、南米で最初に国交を結び、南米への最初の集団移民が到着した国であることも忘れてはならないでしょう。

このようになじみあるトピックの他、ペルー国内の事象(政治にはじまり祭やスポーツ)や社会問題(先住民、貧富の格差、テロリズム、麻薬等)等、できる限りではありますが様々なトピックを取り上げ、ペルーの現状への理解を深めていきたいと考えます。また補足資料として、講師がフィールドワークで得た生のデータなども用いていく予定です。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況、期末試験、提出物から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

適宜プリントを配布します。

参考書:

網野徹哉『インカとスペイン 帝国の交錯』(興亡の世界史12) 講談社(2008年) ISBN:978-4062807128

友枝啓泰・染田秀藤編『アンデス文化を学ぶ人のために』世界思想社(1997年) ISBN:978-4790706571

増田義郎・柳田利夫『ペルー 太平洋とアンデスの国——近代史と日系社会』中央公論新社(1999年) ISBN:978-4120029646

柳田利夫『ペルーの和食——やわらかな多文化主義』慶応義塾大学出版会(2017年) ISBN:978-4766424188

Paerregaard, Karsten. (2009) Peruvians dispersed: A global ethnography of migration. Lexington Books. ISBN:978-0739118382

担当教員から履修者へのコメント:

大まかな題材のくくりはありますが、履修者の関心にも沿いながら講読等のトピックを選んでいきたいと考えます。講読するもののレベルは教科書的なものから難しいと考えられるエッセイや評論も含みます。文法に関する細かい講読というよりは、大まかでも解釈をして文章の意味を考えることに重きがあります。講読は予習が前提となります。必ず辞書を持参してください。

質問・相談:

授業前後に質問を受けます。また授業中にわからないことがあれば、その都度質問をしてもらって構いません。

スペイン語第Ⅳ 1 単位 (春学期)

スペイン語第Ⅳ 1 単位 (秋学期)

スペイン語でラテンアメリカを知る
春学期・秋学期：金2

木下 雅夫

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、中南米社会に関連する教材を用いてスペイン語の総合力を育成することを目的とする。この目的のため、授業を次の2本柱で構成する。

1. プリントを使い、主に実務的表現を学ぶ。
2. ラテンアメリカのスペイン語の短編小説を配布し、これを講読する。これにより読解力の向上を図るとともに、行間を読み込むことでこの地域の人々の感じ方、考え方と社会や文化への理解を深める。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

最終試験(比重6割)と平常点(課題提出、出席状況および授業参加度等、比重4割)とを総合的に評価する。

テキスト(教科書):

プリント配布。

参考書:

授業時に適宜紹介する。

担当教員から履修者へのコメント:

受講者は予習の上出席すること。課題(購読文献の事前訳)は、2018年度は春・秋学期とも6回ずつ提出して貰った。2019年度はMarcos Carías" Día de boda"の後半部分を読んだ。購読文献は中米の小説だが、相当に歯ごたえがあると覚悟して欲しい。課題を出さなければ単位取得は出来ません。

質問・相談:

金曜午前中のみのお出講です。質問・相談は授業の前後にしてください。

スペイン語第Ⅳ 1 単位 (春学期)

スペイン語第Ⅳ 1 単位 (秋学期)

チリの社会・文化・歴史
春学期・秋学期：月4

工藤 由美

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

チリの社会・文化・歴史に関する文献、記事、またそれらに関する動画資料を通して、スペイン語力(読解力や表現力等)を向上させるとともに、チリ共和国についての理解を深めていくことを目的とする。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は、期末試験70%、その他30%(出席状況、提出物等)により総合的に評価します。期末試験は講義中に行います。なお、原則、欠席5回以上で成績判定不可とするので注意すること。

テキスト(教科書):

適宜、プリントを配布します。

参考書:

『チリを知るための60章』細野昭雄ほか編、明石書店(2019年) ISBN: 978-4750348582

『チリの歴史:世界最長の国を歩んだ人びと』ハイメエイサギルレ(Jaime Eyzaguirre)、山本雅俊訳、新評論(1998年) ISBN: 978-4794803832

担当教員から履修者へのコメント:

授業は予習が前提となります。辞書は必ず持参してください。各回に大まかなテーマが設定されています。資料は、履修者の関心とスペイン語能力を考慮して選択する予定です。

質問・相談:

原則、授業終了後に受け付けます。

また、授業中にわからないことがあれば、その都度質問をしてもらって構いません。

スペイン語第Ⅳ 1 単位 (春学期)

スペイン語第Ⅳ 1 単位 (秋学期)

スペイン語圏の文化、社会、政治、スポーツ(リーディング)
春学期・秋学期：木2

仲道 慎治

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

既習したスペイン語の基礎知識を体系的に確認しながら、ニュースを通して、スペイン語圏の文化・社会・政治・スポーツなどに関する文章を読み進める。スペインに関する知識を深めつつ、読解・聴解能力を高めていくことを第1の目標とする。更に、読解を通して学習した表現や文法項目を使用しながら、スペイン語運用能力を向上させることを第2の目標とする。また、スペイン語の背景にあるスペイン語圏の文化などの説明していく予定。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

試験の結果が90%、出席状況及び授業態度10%

テキスト(教科書):

『ニュースを聞こう! 中級スペイン語』中島聡子、佐藤佐知、David Taranco共著 三修社 2018年 ISBN978-4-384-42016-6 C1087

担当教員から履修者へのコメント:

リーディングを中心とした授業ですので、予習して授業に臨むことが前提となります。積極的に参加する意欲のある学生を歓迎します。

欠席は3回までを限度とします。

質問・相談:

授業後に質問等を受け付けます。

スペイン語第Ⅳ 1 単位 (春学期)

スペイン語第Ⅳ 1 単位 (秋学期)

スペイン語圏の音楽・芸術文化
春学期・秋学期：木2

藤本 愛

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、スペイン語圏の音楽や芸術文化を通じて、スペイン語にさらに親しみ、幅広い視野を身につけることを目的とします。スペイン語圏の音楽・芸術文化というと、フラメンコやガウディの建築等を想起する方が多いですが、昨今の世界的な音楽ヒットチャートや映画等でも触れる機会は非常に多く、ポピュラー文化においてもますます重要度を増していると言えます。授業においては、受講生の興味・関心に合わせて題材とする音楽・芸術文化を選び、辞書を引けば実際の雑誌記事なども大まかに理解できるようになることを目標とします。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

試験および平常点、授業への参加度などで総合的に評価します。

テキスト(教科書):

“CULTURA EN EL MUNDO HISPANOHABLANTE (A2/B1). Nueva edición 2018”enClave, 2018 ISBN:9788415299332

担当教員から履修者へのコメント:

既に学習した基礎的な文法の復習をしておきましょう。また辞書を準備し、正しく引けるようになっておいてください。授業ではwebの翻訳サイトではなく辞書を使用しますので、必ず毎回持ってくるようにしてください。

質問・相談:

授業時間の前後およびメールにて受け付けます。メールアドレスは授業でお伝えします。

スペイン語第Ⅳ 1 単位 (春学期)

スペイン語第Ⅳ 1 単位 (秋学期)

スペイン語で旅をする
春学期・秋学期：月1

政田 利奈

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

スペイン語圏はスペインのみならず中南米にまでわたる広さと国の数で、その地理、歴史、文化、社会背景は非常に多様に富んでいます。もしスペイン語圏で言葉が話せれば、現地でもどんなに面白い体験、興味深い発見ができることでしょうか!この授業では「スペイン語を使って旅するなら」というテーマで、一年間しっかり学んだ

スペイン語を復習しながら、今年度は語彙を増やし、なるべく実践的に使ってみることを目的としています。具体的には旅の目的地としてのスペイン語圏の文化や風土に文献を通して触れたり、それについてグループで発表をしたり、そこで必要となる様々な場面やスピーチアクトをペアワークで練習します。授業でやったことを自分の力にするには復習が不可欠なので、毎回課題を出します。やる気のある学生の参加を希望します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点、課題および試験によって評価します。

テキスト(教科書):

『総合スペイン語コース 中級 改訂版』スペイン語教材研究会 朝日出版社

ISBN978-4-255-55075-6

担当教員から履修者へのコメント:

授業では毎回ペアワークやグループワークを実施するので積極的な授業参加が不可欠です。

質問・相談:

授業の前後に受け付けます。

スペイン語第Ⅳ 1 単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1 単位(秋学期)

映画で学ぶスペイン語

春学期・秋学期：木2

三浦 麻衣子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現在スペイン・ラテンアメリカ世界では、多くの才能ある映画監督が活躍し(スペインのアレハンドロ・アマナバルやペドロ・アルモドバル、メキシコのギレルモ・デル・トロやアレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトゥなど)、彼らの作品は国際映画祭で高く評価されているだけではなく、ハリウッドの映画産業を席巻していると言っても過言ではありません。この授業では、これらスペイン語圏で制作された様々な映画作品を題材に、平易な聞き取りやスクリプトの読解を通してスペイン語の運用能力を高める練習をしていきます。練習の中で、スペイン語独特の言い回し、スペイン語の地域差などにも注目していきます。

同時に、作品の背景にある社会文化的状況についても学んでいきます。作品ごとに、授業で扱った文法や聞き取り、作文等の試験を行い、関連したテーマに基づいたレポートを提出してもらうこともあります。映画が、現在のスペイン語圏の国々を様々な角度から理解していく機会になることを期待します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席、試験、レポート、授業参加度から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

授業中にプリントを配布します。

参考書:

辞書は毎回授業に持参すること。

担当教員から履修者へのコメント:

- ・欠席は4回以上認めません。
- ・毎回配布資料を予習した上で授業に臨んでください。
- ・辞書は毎回授業に持参すること。
- ・授業は初級レベルのスペイン語文法を習得しているという前提で進めていきます。
- ・使えるスペイン語を習得したいという強い意欲と、スペイン語圏の文化への強い関心を持つ学生の受講を期待します。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

スペイン語第Ⅳ 1 単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1 単位(秋学期)

スペイン人の先生にスペイン語を学ぼう

春学期・秋学期：金2

ドメネック・アロンソ, ホセ・イグナシオ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

言語を習得する目的はコミュニケーションにある。このクラスでは文法事項にこだわりすぎることなく、「コミュニケーションのできるスペイン語」を第一の目標として設定し、生徒参加型の実践中心の授業を行なう。

直説法現在形の基本を復習した後、以下の表現法、文法テーマを対象とする。現在完了形、未来形、Gustar動詞の用法、比較級、現在分詞、再帰動詞、接続法。これらのテーマに関する理解を容易かつ確実にし、さらに語彙を増やしスペイン文化への認識を深めるため、視聴覚教材を多用する。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春学期：試験80% 授業中評価・宿題20%

秋学期：試験80% 授業中評価・宿題20%

テキスト(教科書):

TeVeó DTP出版

スペイン語第Ⅳ 1 単位(春学期)

スペイン語第Ⅳ 1 単位(秋学期)

ペルー人の先生とスペイン語を学ぼう

春学期・秋学期：木5

ヤマシロ, リタ B.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、スペイン語でコミュニケーションをとることを目標にします。文法の復習をおこないつつ、スペイン語圏の文化に焦点を当てていきます。配布資料、ビデオ、聴覚教材を使ったさまざまな教室活動をおこなう予定です。この授業を通じて、みなさんは、とりわけペルーの社会や文化をより深く知ることができるでしょう。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出欠、授業参加状況、課題提出、試験